

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ①小中一貫教育及び教科「日本語」の推進
②目標値	(項目名) 教科「日本語」保護者や地域への公開授業実施率 〔平成28年度〕全小中学校で実施(100%)
③今年度の取組方針	平成23年3月策定の「鳥栖市小中一貫教育基本計画」に基づき、小中学校が目標を共有し、教職員が一体となって学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組みます。そして、教科「日本語」を核とした小中一貫教育を積極的に進めます。
④上半期の取組内容	1 鳥栖市教育の日など、授業参観日に保護者・地域に対して、教科「日本語」の公開授業を予定どおり実施しました。 (全クラス、年間1回は授業公開を実施することを校長会で確認。) 2 今年度、研究発表会を実施する基里小中学校へ指導主事が、研究授業等で指導・助言及び支援を行いました。 3 市内に転入した教職員を対象に教科「日本語」に関する研修会を市教育委員会主催で実施し、内容や指導方法の周知を図りました。 4 夏季休業中に小中一貫教育コーディネーター研修会及び全職員を対象にした教科「日本語」実践交流会の実施を行い、指導内容や方法等の理解を深めることができました。 5 教科「日本語」の教科書改訂へ向け、教科書改訂委員会を2回、改訂部会を2回実施し、スケジュールどおり進めることができました。
⑤下半期の取組内容	1 11月18日に基里中学校区において、教科「日本語」を核とした小中一貫教育の研究発表会を実施し、公開授業等を実施しました。 2 教科「日本語」を各学校で推進する教員を集め、コーディネーター研修会を実施しました。 3 教科書改訂委員会、改訂部会を開催し、教科書改訂作業を進めました。
⑥数値目標の結果	(項目名) 教科「日本語」保護者や地域への公開授業実施率 〔平成28年度〕全小中学校で実施(100%)
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	改訂した教科「日本語」の教科書の活用を進めると共に、教科「日本語」の指導に難しさを感じる教師が減るように、工夫、改善を図ります。

◇所管部長の指示

上半期

教科「日本語」の教科書改訂へ向け、解りやすく、教えやすい改訂となるよう努めること。

下半期

改訂した教科「日本語」の教科書による授業の充実を図るとともに、地域を含めた改訂教科書の活用について検討すること

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ②学校評議員活用及びコミュニティ・スクール検討
②目標値	(項目名) コミュニティ・スクール設置数 〔平成28年度〕 現状値0校/12校 ⇒ 平成28年度末 先進校1校視察 現状値0校/12校 ⇒ 平成32年度 2校/12校で導入
③今年度の取組方針	各小中学校で特色ある開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員会を活用し、評議員の方々から意見や要望等を積極的に聞き、学校運営に役立てます。また、コミュニティ・スクール導入についての検討を始めます。
④上半期の取組内容	1 各学校で年間計画を立て、1学期の早い段階で学校評議員会を実施し、学校教育目標の説明や委嘱状の交付等を行うなど、予定どおりに学校評議員会を実施しました。 2 入学式や体育大会の学校行事についても各学校から学校評議員に対し、積極的に参加を促すことができました。 3 定例教育委員会で各学校から出された昨年度の実施報告書をもとに実績報告を行いました。 4 コミュニティ・スクールの先進地視察を行うなど、導入へ向けての検討を始めることができました。
⑤下半期の取組内容	1 総合教育会議でコミュニティ・スクールを議題として話し合い、今後の導入へ向けて検討していくこととしました。 2 市内校長研修会でもコミュニティ・スクールについて、今後市内で導入していくことを確認しました。
⑥数値目標の結果	(項目名) コミュニティ・スクール設置数 〔平成28年度〕 現状値0校/12校 ⇒ 平成28年度末 先進地2市 (下関市及び大野城市を視察)
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	平成32年度までに市内2校への導入について、予算面並びに実施校を含め、具体的な検討を行います。

◇所管部長の指示

上半期

学校評議員制度とコミュニティ・スクール制度の整理を行うこと。

下半期

総合教育会議での議論を踏まえ、コミュニティ・スクールの制度設計について検討を深めること。

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ③特別支援教育の充実
②目標値	(項目名) 指導主事の学校への派遣回数 〔平成28年度〕平成28年度末までに36回(1校3回以上)
③今年度の取組方針	特別支援学級等生活指導補助員の研修会を実施したり、指導主事による各学校への巡回指導、支援の実施をしたりするなどして、特別支援教育の充実に努めます。
④上半期の取組内容	1 嘱託指導主事が市内12校を訪問して、各学校の特別支援学級の児童生徒の実態把握等に努めました。 2 予定どおり、年度初めと1学期末に特別支援学級等生活指導補助員を対象として、研修会を実施することができました。 3 幼稚園長会や特別支援学級担当者研修会を通して、幼保小の連携を踏まえ、嘱託指導主事から今後のスケジュールや個別の支援計画、支援案作成等についての確認を行いました。
⑤下半期の取組内容	1 予定どおり、幼稚園、保育園、小中学校へ、就学・進級に向けた巡回指導を実施しました。 2 予定どおり第3回就学相談会を10/11に実施して、28名が参加しました。 3 2学期末に外部から講師を招聘し、特別支援学級等生活指導補助員を対象として、研修会を実施することができました。
⑥数値目標の結果	(項目名) 指導主事の学校への派遣回数 〔平成28年度〕平成28年度末までに24回(1校2回以上) ※嘱託指導主事の病休により3回の実施は難しかったことによるもの。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	来年度は、さらに特別支援学級在籍の児童生徒数と特別支援学級数も増加する予定であり、特別支援教育の充実の重要度がさらに高まると考えられることから、学校への巡回等を積極的に実施し、指導・助言等をさらに行っていきます。

◇所管部長の指示

上半期

研修会等を通して各学校の特別支援学級等生活指導補助員への適切な支援を行うこと。

下半期

今後、特別支援学級在籍の児童・生徒が増加する傾向にあることから、指導主事によるきめ細やかな巡回指導と研修会等を通じて特別支援教育の充実に努めること。

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

①重点施策項目名	豊かな心、健全な体を育む教育の充実を図ります ①いじめ防止取組の充実
②目標値	(項目名) すべての学校で鳥栖市いじめ防止基本計画について校内研修を実施 〔平成28年度〕全小中学校で実施(100%)
③今年度の取組方針	いじめはどの学校でもどの児童生徒にも生じうるという緊張感を持ち、児童等が安心して生活し、学ぶことができるように道徳の授業や「いじめ・命を考える日」等の教育活動を通して、児童生徒に思いやりの心や倫理観や正義感など、豊かな心を育てます。
④上半期の取組内容	1 いじめ防止に係る校内研修会に嘱託指導主事が出向き、様々な事例等を取り上げるなどして、教職員に対して積極的に指導・助言を行うことができました。 2 「なくそういじめ」子ども会議を夏休み期間中に実施し、中学校区ごとに児童会、生徒会で共通していじめ防止へ向けて取り組む内容を話し合いました。
⑤下半期の取組内容	1 10月6日に第2回いじめ問題対策委員会、1月12日に第3回いじめ問題対策委員会を実施して事例等について協議を行いました。 2 学校、スクールソーシャルワーカー、県児童相談所、医療機関等と連携して、各学校で解決及び解消へ向け、ケース会議を実施しました。
⑥数値目標の結果	(項目名) すべての学校で鳥栖市いじめ防止基本計画について校内研修を実施 〔平成28年度〕全小中学校で実施(100%)
⑦成果と課題(次年度に向けて)	いじめはどの学校でもどの児童生徒にも生じうるという緊張感を持ち、児童等が安心して生活し、学ぶことができるような取組を継続し、各学校で未然防止の取組等をさらに充実させるため、事例研修会の実施等について検討します。

◇所管部長の指示

上半期

「いじめ対策マニュアル」を活用し、早期のいじめ対策に努め、いじめのサインを見逃さないよう努めること。

下半期

いじめはどの学校でもどの児童生徒にも起こり得るという危機感をもち、些細なことでも見逃さない体制を確保するとともに、近年増加するSNS関連事案等に対する具体的な対策の強化を図ること。

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

①重点施策項目名	豊かな心、健全な体を育む教育の充実を図ります ②子どもたちの体力向上
②目標値	(項目名) 体力向上プランの新規作成校 〔平成28年度〕全小中学校で作成(100%)
③今年度の取組方針	子どもたちの体力に関する実態を継続的に把握し、体育や保健の授業の改善や授業以外の学校全体の取組などをおして児童生徒の運動習慣を定着させ、体力向上を目指します。
④上半期の取組内容	1 市教育委員会から市内12校に新規に体力向上プランの作成を依頼し、各学校から提出された体力向上プランを校長会で紹介しました。 2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査を各小中学校で実施しました。 3 体力向上プラン支援事業を全小学校で実施しました。 (1) 市内全学校でストレッチや体幹トレーニング等に関する教職員対象の研修会を実施しました。 (2) 市内全小学校の1学級において外部指導者が子どもたちにストレッチや体幹トレーニング等に関する授業を実施しました。
⑤下半期の取組内容	1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析を行い、鳥栖市の状況と全国との比較等を行って分析結果を校長研修会で周知しました。 2 本年度から実施し、作成した各学校での体力向上プランの成果と課題についてまとめ、来年度のプラン作成についても、今年度の課題をもとに作成するように指示しました。
⑥数値目標の結果	(項目名) 体力向上プランの新規作成校 〔平成28年度〕全小中学校で作成(100%)
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	今後も、学力だけでなく、子どもたちの体力に関する実態を継続的に把握することとし、体育や保健の授業の改善や授業以外の学校全体の取組などをおして運動習慣を定着させるようにして、子どもたちの体力の向上を目指します。

◇所管部長の指示

上半期

各学校で作成された体力プランを実施し体力向上に努めること。

下半期

体力向上プランの成果について検証を行い、PDCAサイクルによる充実強化に努めること